



いこいな
@シンエイ/
西東京市

詳細はホームページで

西東京市Web

検索



主な内容

【2面】ひとり親世帯臨時特別給付金の申請期限延長 【4・5面】西東京市のあゆみすごろく 【6面】休日診療

西東京市誕生20周年 おめでとう!

4・5面の
「西東京市のあゆみ
すごろく」も
ご覧ください。



次世代への責任

西東京市長 丸山浩一



あけましておめでとうございます。

新春を迎え、市民の皆様にご挨拶を申し上げます。

まず初めに、昨年来から流行しております新型コロナウイルス感染症の患者様と日々向き合い、ご尽力されております医療従事者の皆様並びに保健所をはじめとする関係機関等の皆様に敬意を表すとともに心より感謝申し上げます。

東京都は、急激な感染者の増加を受け、12月17日に、「年末年始コロナ特別警報」を発令いたしました。市内においても新規感染者が増加しておりますので、人混みへのお出かけをお控えいただくとともに、会食での感染も懸念されていることから、お互いが十分に気をつけ、引き続きの感染拡大防止にご協力をお願いします。

欧米では、ワクチン接種が開始されました。本市でも、その準備のための担当を新たに設け、接種体制の構築を進めております。

感染者が急増している状況にございますが、これ以上の感染拡大を防ぐよう、今後も全力で取り組んでまいります。

さて、本市は今日21日に、西東京市誕生から20年目となる節目の年を迎えます。

平成13年当時は、人口約18万人でしたが、今では20万人の市民の皆様が住むまちに成長いたしました。

この間、「健康」応援都市 西東京市として市の最上位計画である「第2次総合計画・後期基本計画」において、「多様な世代の活動・交流の促進」「健康なライフスタイルづくりの促進」「暮らしの価値を高める魅力ある拠点づくり」の3つの柱からなる「健康都市プログラム」を設定するとともに、「福祉丸ごと相談窓口」や「生涯現役応援窓口」の開設のほか、昨年11月には妊娠出産・子育てコンシェルジュ「いこいこ」(子育て世代包括支援センター)をスタートさせ、「人」の健康を応援する施策のほか、「まち」を健康にするという視点に立ち、市内主要駅のバリアフリー化や緑地の確保、下野谷遺跡の整備等、「健康」をキーワードに施策を進めてまいりました。

次の10年・20年、そしてその先を見据えながら西東京市で生まれ育った子どもたちが、大人になっても愛着と誇りを持てるようなまちづくりを進め、次世代への責任を果たしてまいります。

結びに、今年の7月には、昨年延期となりました「東京2020オリンピック・パラリンピック競技会」が開催される予定です。感染症が収束し、今年が明るい1年となることを願い、本市の発展と市民の皆様のご健勝とご多幸を心から祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。